

## 宗谷の近況〈番外編〉

### 派遣職員が見た被災地〈宮城県石巻市〉の変貌

2013年4月から1年間、岩手県の被災地に派遣されている当課職員が、同じ東北地方の被災地〈宮城県石巻市〉を訪れました。この職員は震災直後の2011年の夏にも約2週間、石巻市に派遣されていた経緯があることから、2年振りに同市を再訪し、状況の変化を報告してくれました。（左側が2011年7月、右側が2013年11月に写した同一箇所の写真です。その変貌ぶりがわかります。）



これは、震災後に被災者が居住スペースとして一時的に使用した小学校体育館の様子です。ダンボールを壁代わりにして仕切っています。当課職員もここで寝泊まりしました。



被災者用の仮設住宅が外に出来たため、ダンボールで仕切られた居住スペースは撤去されていました。体育館本来の使用に備えるため、重機が改修作業をしています。



津波で折れた鉄柱（手前）と壁がなくなった建物（左）。奥に見えるのは鉄骨がむきだしになったコンビニエンスストアです。店舗が全壊し、休業中でした。



鉄柱と左側の建物が撤去された跡は舗装路面だけが広がり、奥のコンビニは通常の姿に戻って営業を再開していました。復活した姿が嬉しいです。



大きな市立病院施設。無事に見えますが、1階天井まで津波が押し寄せ、ライフラインが全て被災してしまったそうです。



病院は解体され、重機が跡地をならしていました。河川堤防と大規模公園になるそうです。新病院は石巻駅前に2015年の完成を目指して建設予定とのこと。

（左側：2011年7月）

（右側：2013年11月）